



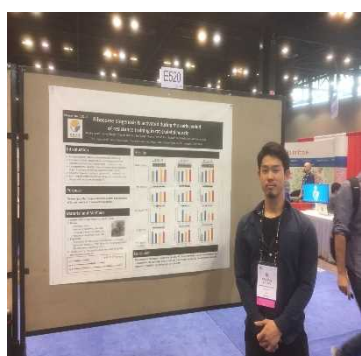
Experimental Biology 2017 in Chicago 参加報告書

広域科学専攻 博士課程 1年 小谷鷹哉 (石井直方研究室)

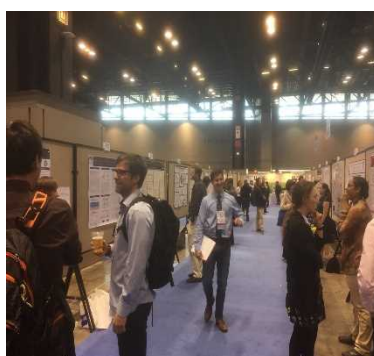
「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」を受け、Experimental Biology 2017 in Chicago (EB 2017)に参加してきました。この国際学会は、解剖学や生理学、生化学や生物学など多岐にわたる分野の研究者が集い交流することで、将来のサイエンスの発展に繋げることを目的としている。開催期間は平成 29 年 4 月 22 日から 4 月 26 日までの 5 日間でした。EB 2017 では 5000 件を超える発表が行われ、65 カ国以上の人々が参加しました。

私は 4 月 25 日に Physiology of Muscle Sarcopenia and Regeneration というセッションにおいて「Ribosome biogenesis is activated during the early period of resistance training in rat skeletal muscle」という題でポスター発表を行いました。発表内容はレジスタンストレーニングによってリボソーム量やリボソーム生合成に関わる因子がどのように変化するのかを明らかにする実験を行ったものです。ポスター発表時間は 2 時間弱設けられ、会場では筋肥大について研究を行っている研究者が多数いらしており、私の実験内容について貴重な議論を行うことができました。特に、普段から参考にしてきた論文の著者と実際に生でディスカッションでき、非常に興奮しました。また、最先端の研究内容を多数見ることができ、良い勉強となりました。また、英語でのコミュニケーションやアメリカの文化についても 1 週間触れることができ、本物の国際勉強ができました。今回の学会を通じて、研究の問題点や今後の研究内容について考えることができ、研究者として非常に良い経験となりました。この経験を今後の研究や教育などに活かしていきたいと思います。

〈ポスター発表の様子〉



〈会場の様子〉



〈シカゴの街並み〉

